

きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療

「認知症」の画像診断について

放射線科部長 松本 祥一

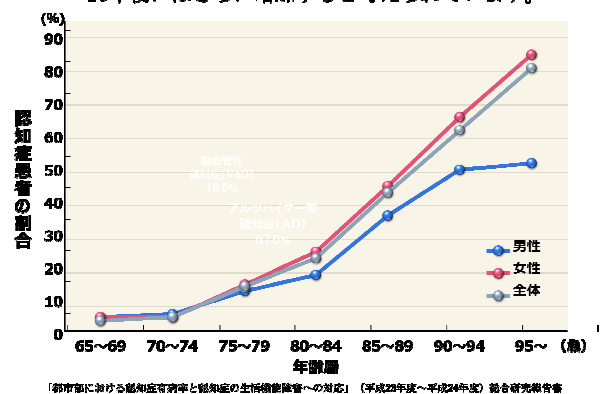
人は、歳を重ねると「もの忘れ」が目立つようになります。誰にでも起こる「もの忘れ」とは別に、何らかの原因により、記憶や判断力などの脳の働きに障害が起こり、日常生活に支障をきたす「もの忘れ」を認知症と呼びます。

認知症は歳を重ねるにつれて増加する病気であり、介護を必要とする認知症患者は年々増加することが予想されており、住み慣れた地域で自立した生活を継続できるようにするために、今後ますます認知症を早期に診断し、治療する必要性が高まっています。

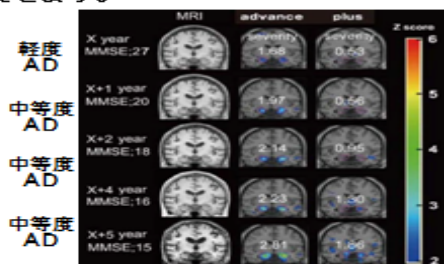
認知症の原因には様々なものがあり、治療を始める前にその原因となっている病気を見つけるための検査が必要です。一般的には問診と神経心理テストが行われます。当院の放射線科では、画像診断を用いた検査を行っています。



認知症は歳を重ねるにつれて増加する病気であり、10年後にはさらに増加すると考えられています。

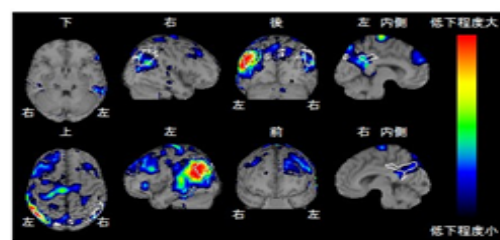


MRIは脳の萎縮を評価することが可能です。統計解析処理を行うと、萎縮が強い所がカラーで表示されます。図に示すように、早期のアルツハイマー型認知症 (AD) を発見し、その後の進行度も評価できます。



【画像診断】国立精神・神経医療研究センター 認知症総合イメージングセンター 後田 真由

脳血流シンチは脳の血流を評価することが可能です。統計解析処理を行うと、血流が低下している部位がカラーで表示されます。早期のアルツハイマー型認知症 (AD) で血流が低下するとされる部位に一致して、血流低下がみられると、ADと診断することができます。



***** 画像上でカラー表示されているのは、血流低下部位です。*****

MRI では脳の形（萎縮していないか）を、脳血流シンチでは脳の機能（血流が低下していないか）を調べることができ、認知症の早期発見に役立ちます。いずれの検査も健常な

人の脳と統計学的に比較することで、異常な部位をより正確に、わかりやすく表示する事ができ、認知症診断の手助けとなる画像を提供することができます。

検査はいずれも放射線科外来で行います。患者さまやご家族の都合により、2つの検査を同じ日に行うことも可能です。ご希望の方はかかりつけ医にご相談ください。

検査の予約は、

放射線科 検査予約センター

までお願いします。

FAX: 079-442-3993

お知らせ

1. 内科初診時は、紹介状をご持参下さい

初診の際には、できる限り紹介状をご持参下さい。また、腹痛・便鮮血の症状の患者さまには外科受診（外科・内科が協力して診断、治療行います）となりますことをご理解・ご協力をお願い致します。

※腎臓内科の初診は、できる限り医療機関の先生方から前もってFAXによるご予約をよろしくお願い致します。



【腎臓内科】

曜日	月	火	水	木	金
医師	田中	後藤(俊)	門口	金光	田中

2. 放射線科からのお願い

冠動脈CT（心臓血管CT）検査は、検査前の処置が必要になりますのでまずは、循環器科の診察を受けて頂きます。その上で、検査の予約をします。検査は、主治医立ち合いで行いますので、完全予約制となります。（木曜日のみ）

3. 今月のホッとひと息寄り道講座

テーマ **がん看護について**
講師 **がん化学療法認定看護師**
日時 2月10日（火） 24日（火） 10:00～10:30
場所 **正面玄関ホール 公衆電話前**

4. 生活習慣病教室のご案内

テーマ **～生活習慣病にブレーキをかけるのは今！～**
講師 **薬剤師、看護師**
日時 2月18日（水） 13:30～15:00
場所 **2階 講義室**



きほうへのかけはし

に関するお問合せは、

地域医療連携室までお願いします。

連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
TEL 079-442-3981(内線5146)
FAX 079-443-1401
ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>